



# 市議会だより



市議会だより

## 議会日誌

16日	15-13日	10日	8日	7日	6日	2日	1日	11月	31日	28-26日	24日	23日	10月
教育民生常任委員会 全員協議会	防災対策調査特別委員会 視察研修	行財政改革調査特別委員会	議会運営委員会	議会広報委員会	決算特別委員会	防災対策調査特別委員会 視察研修	決算特別委員会 全員協議会		教育民生常任委員会	三豊総合病院組合議会視察研修	建設経済常任委員会	行財政改革調査特別委員会	

市議会だより

### 教育民生常任委員会 研修

8月1日～3日

大分県臼田市・熊本県芦北地域振興局

バイオマスの資源化と

「食育」事業

臼田市では、「バイオマス資源化センター」、芦北地域振興局では、「食育パートナーシップ事業」の現地研修を行った。

臼田市は、人口7万4千人、面積666km<sup>2</sup>、8割を林野部が占め、林業と畜産業が主な産業である。そのため、木質バイオマスや家畜排泄物など、質・量ともに豊富なバイオマス資源があるため、これらの総合的な利活用を図るために、「臼田市バイオマスタウン構想」が計画された。

一、地球温暖化及び化石資源枯渇問題  
二、ゴミ焼却問題  
三、畜産環境問題  
この三つの問題解決を目的に建設され、未だ有効な処理方法

が確立されていない生ゴミをメタンガス化し、発電して資源化した。

我市に置き替えれば、可燃ゴミとされている生ゴミが再資源化され、三観クリーンセンターの焼却量が低減されるならば、ゴミ政策ビジョンが描けると感じた。

もう一方の研修先である芦北地域振興局の「子どもの食育パートナーシップ事業」も、地域全体の取り組みの重要性を学ばせて頂き、有意義な研修であった。

### 総務常任委員会研修

10月3日～5日

山梨県笛吹市・総務省

本委員会においては、合併先進地で同規模団体における合併後の諸問題への対応、国の施策による地方交付税の動向、人事評価制度についての地方への提言等について、次のとおり研修を行った。

#### 笛吹市

職員定数関係について  
行財政改革大綱における「計

画的な定員管理」とともに組織の活性化を図るため、職員の意識改革がこれまで以上に必要であり、特にコスト意識の高揚面において、民間研修（一定期間派遣）を実施している。

遊休施設の活用について  
施設有効利用のための勉強会を、県の職員と合同で立上げる予定。現在、旧石和町立病院（民間移譲後移転したため、遊休施設となっている）を改修し、本庁舎としての活用を検討中。

#### 総務省

財政健全化、地方交付税の動向について

地方単独事業・人件費抑制とともに、新型地方交付税制度については、原則、人口・面積を基準に算定。

福祉・教育関係・離島等の分野については、現行枠内の予定（算定方法の最終決定は年内）

人事評価制度について  
国においては、第1次・2次試行を予定しているが、評価制度導入は、比較的の方が進んでいると思われる。今後一層、能力主義重視になると考えられる。

三豊市議会だよりの発行・編集は

三豊市議会・議会広報委員会

〒769-1593 三豊市豊中町本山甲201-1 62-1135